

雨☒晴



KYO AMAHARE
DEBUT

At the end of November 2023

雨晴



京
今
共
饗
興
雨

雨晴



京に学び

今日に生かし

自然と共に

人を饗し

笑い興じる

日々の暮らし

雨の日も晴れの日も

雨晴



「京」と「雨」

2023年11月末。雨晴は新しいお店を日本文化の発信地「京都」に開業いたします。

場所は錦市場の一本北の筋。

時季は今秋の紅葉の盛りの頃。

空間は110年の歴史をもつ京町屋。

3つの庭を抱えるこの町屋は京の中心地にありながら
「雨の日も晴れの日」も自然を感じることでできる心地よい場所。

京都の人や町から日本人の精神性を日々学びながら
日本国内は勿論、世界中に住む同じ価値観を持つ方々に
日本人の美意識、自然観、そして日本の工藝の美しさをお伝えすることを目的とした空間と時間を創ります。

2024年春には「KYO AMAHARE」の世界観を実体験できる「茶房」を蔵内に開業予定です。

雨と晴



「霽」と「藝」

200㎡の空間を持つ京町家に並ぶのは
今の暮らしの中で曖昧になりつつある「霽れ(晴れ)」と「藝(雨)」を意識した作品群。

「雨晴/AMAHARE」「雨跡/AMART」の常設品や
「霽れ」を意識した「茶道具」や「懐石のうつわ」をラインナップ。

世界中から注目を浴びる「日本の工芸」の価値を作り手と共に高めながら
訪れる方々と共に「心地よいくらし」を考えつくります。

1階では「雨晴/AMAHARE」
2階では雨晴が手掛けるアートプロジェクト「雨跡/AMART」の展覧会を定期的を開催予定です。

雨晴



「舊」と「新」

白金台にある「雨晴/AMAHARE」に引き続き
「TONERICO:INC.」に設計を依頼。

屋久杉が天井に貼られた小間
華奢で色気のある梁で構成された通り庭
広間の先に見える京都らしい佇まいのお庭

耳を澄ませば数奇者の家主と名大工の当時のやりとりが聴こえてくるような
気品が漂うこの町家。

唯一無二の価値を継承しながら
新しい意匠や素材を組み合わせることでモダンな空間を創り上げます。

雨晴



雨晴



KYO AMAHARE

〒604-8063 京都府京都市中京区蛸薬師通柳馬場東入油屋町 127番地

IG : https://www.instagram.com/kyo_amahare/

WEB : <https://www.amahare.jp/>

※近日中に特設サイトを公開予定

TEL : 未定

【 問い合わせ先 】

オモビト株式会社

雨晴事業部 金子憲一

03-3280-0766

info@amahare.jp

※南陽オモビト株式会社は2023年8月4日よりオモビト株式会社となりました。